

学校教育目標

思いやりの心を持ち、自己決定する子

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
育てほしい児童の姿	入学当初の児童の姿 ○小学校はどんなところだろう。 ○新しい友達をつくりたいな。 ○勉強をしてみたいな。 ○一人でできるようになりたいな。	<div>お兄さん、お姉さんはすごいな。 あんなふうになりたいな！ 私にも、できるかな？</div> <div>園所ではいろいろなことをしてきたよ。 学校ではどんなことをするのかな？ 早く知りたい、やってみたい！</div> <div>小学校ってどんなところかな？ 友達できるかな？ 楽しいといいな！</div>	○学習に意欲的に取り組もうとする。 ○生活経験と学習内容を繋げ、文字や数を楽しみながら使う。	○興味・関心があることを進んで考えたり調べたりすることができる。 ○学んだことを生活経験と繋げ、様々な場面で使うことができる。	期待する児童の姿 明確な目標をたて、その目標にせまる学び方を自ら見だし解決に向けて方法をさぐる。 ○課題や問題解決のために自己の経験などから意見を伝えたり、他者と対話することで考えを評価したり、深めたりして互いの考えを生かす合う。 ○自己の考えや思いについて自信を持ったり認めたり、他者の思いや立場を尊重し、互いに高め合うことができる。							
主な学習活動	生活科を中心とした合科的・関連的な学習活動の充実 単元名「がっこうとなかよくなるう」(9H) ・学校探検をしよう →国語科「こんなもの見つけたよ」「なんていうかな」算数科「10までの数」道徳「はりきり1年生」図画工作科「すなやつちとなかよし」	生活科を中心とした合科的・関連的な学習活動の充実 単元名「はなやさいがもっとおおきくなったよ」(8H) 国語科「はなのみち」「大きくなった」算数科「あわせていくつふえるといくつ」	生活科を中心とした合科的・関連的な学習活動の充実 単元名「たのしいねあきのあそび」(5H) 「ようこそあきのテーマパークへ」(6H) ・秋のものを使っているんなものを作りたい。 →国語科「こんなことがあったよ」「みんなに知らせよう」「しらせたいな、見せたいな」図画工作科「たいせつボックス」音楽発表会	生活科を中心とした合科的・関連的な学習活動の充実 単元名「もうすぐ2年生」(7H) ・新しい1年生が安心して川口小学校に入学できるようにできることを考えよう。 →国語科「いいこといっぱい1年生」			5年生 総合的な学習の時間 「学校案内」 ・次年度のペア学年で交流をもつ。					
環境構成(人・もの・こと等)	【人】 ・交通指導員 見守りボランティア 通学班など多様な人との関わり。 ・学習や給食、掃除を6年生に手伝ってもらい、関わりを増やす。 ・1年生を迎える会で異学年との交流を図る。 ・学校支援員を配置する。 【もの】 ・物の場所や片付け方、学習内容などを掲示し、見通しを持てるようにする。 ・教室にラバーマットを敷くスペースを用意し、折り紙、塗り絵などの就学前に行っていた遊びができるようにする。 【こと】 ・就学前に取り組んだ活動や遊びを取り入れ、安心感をもって登校できるようにする。 ・学習時間の配列や時間配分の工夫。(モジュール時間の活用) ・就学前に在籍していた園の先生が読み聞かせに来てもらい、安心感をもって学校生活に接続できるようにする。 ・園所に行って、新しい環境に徐々に移行する。(すなやつちとなかよし、しゃぼん遊び)	【人】 ・行事や授業を通じて異学年での交流を行う。 【もの】 ・児童の興味、関心に応じて自ら調べたり、試したりできる環境づくりをする。 【こと】 ・園児との交流を設定し、お兄さん、お姉さんとして自己を発揮できる場を設定する。 ・次年度入学予定の5歳児が学校を楽しく、安心できる場と意識できるようにする。(あきのテーマパーク)	【人】 ・新入生との交流活動を仕組み、園児の立場になって交流内容を考えられるようにする。 ・新入生との交流を通じて次年度への期待感を高める。 【こと】 ・行事を通じて自分の成長を実感できるようにする。 ・全職員に共通理解を図り、来年度の協力体制を整える。 ・次年度入学予定の5歳児が学校を楽しく、安心できる場と意識できるようにする。(5年生による学校案内)									
園・所との連携	・図画工作科や生活科での連携 ・幼保小連携協議会等 ・運動会 ・就学前に在籍していた園の先生の読み聞かせ	・中間交流 ・幼稚園見学、交流 ・あきのテーマパーク招待 ・幼保小連携協議会等	・次年度スタートカリキュラム検討 ・学校見学 ・入学予定児童の交流(新1年と新6年) ・幼保小連携協議会等									
家庭との連携	・入学当初は学年通信を毎週発行し、次週の学習内容や子どもの様子を伝える。 ・連絡帳や電話連絡、クラスルームを活用して児童の気になる様子などを連携していく。	・学年通信や連絡帳、クラスルーム、電話連絡で子どもの頑張りを家庭に伝える。 ・行事や参観日で、日々の子どもの頑張りを参観してもらう。	・学習の成果物を持ち帰り、成長を児童とともに喜んでもらう。 ・入学説明会で、来年度に向けて学習の進め方や4月の学習の様子を紹介し、安心感を持ってもらう。									